

令和 2 年度決算に係る

定期監査資料

令和 3 年 8 月

交流人口拡大本部 名古屋代表部

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	決算資料の総括表	10 頁
7	事業別実施状況調べ	11 頁
8	予備費の充用調べ	12 頁
9	繰越関係調べ	12 頁
10	収入証紙取扱調べ	12 頁
11	現金の取扱状況	12 頁
12	財産に関する調べ	12 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
13	財産の貸付け及び使用許可調べ	13 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受領時の評価額が100万円以上のもの）	
14	借受不動産明細調べ	13 頁
15	職員駐車場の管理状況調べ	14 頁
16	寄附物件の受納状況調べ	14 頁
17	備品の処分状況調べ	14 頁
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	14 頁
	(1) 亡失、損傷の報告状況	
	(2) 物品確認の実施状況	
19	貸付金等状況調べ	14 頁

20	企業誘致の状況	15 頁
	(1) 企業誘致の条件、目標等	
	(2) 企業訪問	
	(3) 企業の要望、課題等	
	(4) その他	
21	県内物産の展示、宣伝、紹介の状況	15 頁
22	観光宣伝の状況	15 頁
23	県外本部・代表部庁舎に入居している団体等の調べ	15 頁
○	意見、要望等	16 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし
- (3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	
定員	2	2	0	0	0	0	2	2	
現員	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
	2	2	0	0	0	0	2	2	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時的 任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度 任用職員	3	2	0	0	0	0	3	2	事務員2名 産業立地担当参与 1名

4 役付職員の調べ

(令和3年8月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
部長	岡山 佳文	1年 4月	
次長	橋上 博文	0年 4月	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
中京圏との連携推進事業	15,089				15,089
将来ビジョン					
令和新時代創生戦略					
政策項目					

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

首都圏、関西圏に次ぐ圏域人口を誇る中京圏（東海3県の人口約11,300千人）において、鳥取県の魅力発信を図り、誘客を促すとともに、関係人口の拡大、移住定住に結びつけていくために、「鳥取ならではの魅力」、「鳥取の素晴らしさ」をPRする。

(イ) 事業の実施状況

①自動車利用者対象

項目	内容
旅行情報誌を活用した情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○「秋ぴあ東海版」への掲載 鳥取県への交通アクセス、観光情報等を紹介した鳥取県特集（8ページ）を掲載した。 発行日：9月2日 発行部数：約45,000部 その他：掲載紙面を冊子化し、高速道路サービスエリア、道の駅、チケットステーションで配布（12,500部） ○エリア情報誌「東海ウオーカー」への掲載 観光需要回復期に向けた観光誘客を目的とした広告を掲載した。 発行日：7月20日 発行部数：38,500部
高速道路サービスエリアでの情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○ぶらりMAP2020 秋/冬号への掲載 中京圏の高速道路サービスエリアで配布される広告媒体（NEXCO中日本発行）に鳥取県へのアクセス、観光情報等を掲載し、配布した。 発行日：10月16日（金） 発行部数：約50,000部 ○テーブルステッカーの掲出及びパンフレットの配架 東海地方の高速道路サービスエリアにテーブルステッカーの掲出及びパンフレットの配架を実施した。 期間：令和3年1月から3月

②鉄道利用者対象

項目	内容
<p>JR名古屋駅での情報発信</p> <p>※JR名古屋駅は東海道新幹線、JR各線（東海道、中央、関西）、名鉄、近鉄、地下鉄、あおなみ</p>	<p>中京圏で最も利用者が多いJR名古屋駅で、鳥取県の冬の味覚の王者「松葉がに」の解禁にあわせ、ジェイアール名古屋タカシマヤの実施する松葉がにの特別販売会（11/14,15）をはじめ、旅とグルメの多彩な情報発信を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鳥取県観光PR 〔期日〕10月27日（火）～11月16日（月） 〔場所〕JR名古屋駅桜通口及び名古屋駅地下通路 〔内容〕デジタルフラッグ及びJ・ADビジョンでイベント告知、蟹取県ウェルカニキャンペーン等をPR

<p>線が乗り入れる 巨大ターミナル (一日平均110 万人以上利用)</p>	<p>○JR名古屋駅での連続貼りポスター及びJR在来線中吊り広告の掲出 〔期日〕ポスター：10月26日(月)～11月26日(木) 中吊り：10月26日(月)～11月30日(月) 〔内容〕鳥取砂丘、投入堂、大山の3種をまとめて掲示</p> <p>○鳥取県PR映像放映等 〔日時〕10月27日(火)～11月16日(月) 〔場所〕JR名古屋駅構内 〔内容〕名古屋マリオットアソシアホテルのデジタルサイネージによるイベント告知、蟹取県ウエルカニキャンペーン等をPR</p> <p>○【新規】ZIP-FMでのラジオコマーシャル 〔放送期間〕11月1日(日)～15日(日) 〔内容〕イベント告知、蟹取県ウエルカニキャンペーン等をPR(20秒スポットCM30本オンエア)</p> <p>○【新規】ZIP-FM番組での生放送出演 〔放送日〕11月14日(土)午後1時52分から3分間 〔内容〕イベント告知、蟹取県ウエルカニキャンペーン等をPR 〔出演〕とっとり観光親善大使</p> <p>○マスコミキャラバン 〔期日〕11月13日(金) 〔内容〕とっとり観光親善大使が新聞社を訪問し、「松葉がに」の紹介や鳥取県観光PRを実施</p> <p>○名古屋駅構内の旅行会社での鳥取県PR 〔日時〕11月9日(月)～15日(日) 〔場所〕(株)ジェイアール東海ツアーズ名古屋支店 〔内容〕特設展示コーナー、パンフレット配架、ポスター展示等をした鳥取フェアを開催 鳥取フェアに併せた旅行商品の造成、販促チラシの配布を実施</p>
---	--

③メディアを活用した情報発信

○中京テレビ

- ・「キャッチ!」(11/25放送)で、鳥取砂丘、松葉がに等を紹介した。
- ・「ぐっと」(11/13放送)のイベント告知コーナーで、蟹取県ウエルカニキャンペーンをPRした。

○中日新聞【観光情報提供事業】

中日新聞(朝刊・市民版)(名古屋市全域で50万部発行)で、3回にわたり鳥取県の旬の話題を紹介した。

- ・「知っておきたい冬の鳥取のこと」と題して、松葉がにと温泉をPR(11/7掲載)
- ・「鳥取のご当地グルメを知ってみよう!」と題して、松葉がに、鳥取和牛、モサエビ、牛骨ラーメン、ホルモン焼きそば等をPR(12/19掲載)
- ・「移住した人に聞いた、鳥取県のいいところ」と題して、移住者の方にインタビューし、移住地としての魅力をPR(3/27掲載)

○読売新聞

- ・読売新聞(朝刊・中部支社版)(愛知県、三重県及び岐阜県で約15万部発行)で中止となった「ふるさと全国県人会まつり」に代えて、郷土芸能、観光情報、お取り寄せ可能な特産品等をPRした。(9/20掲載)

④ イベント実施による情報発信

項目	内容	来場者数等	時期・場所等
事務所での情報発信	名古屋代表部入口にパンフレットコーナーを設置し、情報を発信した。	—	通年 名古屋代表部
【新規】中学校修学旅行研究会での観光情報の説明	中学校修学旅行研究会に、(公社)鳥取県観光連盟と連携して参加し、修学旅行先としての鳥取県の魅力を説明した。	愛知県内中学校校長等19人、旅行会社5人等	令和2年11月18日(水) 名古屋都市センター
ふるさとフェア～全国センター合同物産観光展～in金山	久屋中日ビルに事務所を設置している13道県が出展し、名産品を販売するとともに、鳥取県のPRを実施した。	—	令和2年12月1日(火)～4日(金) 金山駅総合駅コンコース
冬山フェスタでのPR	名古屋唯一の山岳関連イベント「夏山フェスタ」に代えて初めて開催された「冬山フェスタ」に参加し、鳥取県PRを実施した。	700人	令和2年12月26日(土) 愛知県産業労働センター
いい街発見!地方の暮らしフェア2020-ONLINEの参加	(公財)ふるさと鳥取県定住機構等と連携し、移住定住イベントにオンライン参加し、鳥取県の魅力をPRした。	—	令和3年3月6日(土)～7日(日)
【新規】6県リレー講座	中日久屋ビルに入居している他県(石川県、山形県、青森県、秋田県、鳥根県)と連携し、リレー講座を開講した。	—	令和3年3月19日(月) 久屋中日ビル

⑤ 【新規】Kinko's with 鳥取県の日開催

キンコーズジャパン(株)が初めて実施する全国応援プロジェクトに協力し、第1回として鳥取県を採りあげ、名古屋市内4店舗での店内装飾、観光パンフレット展等を実施した。

〔開催日〕令和2年10月14日(水)～16日(金)

〔場所〕池下店、栄店、伏見店、名駅広小路店

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・JR名古屋駅のイベントでは、観光PRだけでなく、物産販売(ジェイアール名古屋タカシマヤでの松葉がに販売)、旅行商品の造成、食のイベント(名古屋マリオットアソシアホテル)等を連動させて多角的な情報発信を行った。
- ・久屋中日ビルに入居する他県と連携のもと、リレー講座の開催等の新たな取組に挑戦し相乗効果が得られた。

ウ 成果及び効果

- ・大規模な集客が見込める施設やメディアを活用した PR により、鳥取県のアクセスの良さや観光の魅力を広く発信することができた。
- ・鳥取県へのアクセスの良さを PR し続けることにより、鳥取県に観光に向かうお客様の問合せがより具体的になった。（時間やルート、2次交通の有無等）。
- ・また、鳥取県の宿泊旅行者に占める中京圏発地割合は関西（34.3%）、中四国（23.4%）、関東（20.5%）に次いで4番目に高い割合となっている。
- ・さらに、中京圏からの安定した観光入込客数につながった。

（旅行雑誌調査）

年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
発地割合（%）	7.6	11.6	10.7	10.6	8.4	8.4	6.9	7.3	7.0

（県観光客入込動態調査）

年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
入込客数（千人）	321	413	313	323	279	273	272	303
対前年増減率（%）	98.8	128.7	75.8	103.2	86.4	97.8	99.6	111.4

エ 課題

- ・鳥取県に対する認知度は高まってきてはいるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、ほとんどのイベントが中止となるなど、情報発信を計画通り進めることができなかった。今後は、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、効果的な情報発信を行っていく必要がある。
- ・単なる観光 PR ではなく、交流人口の拡大を見据えた内容も取り入れて情報発信していく必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
ふるさと鳥取県産業・観光センター設置運営費	8,978			403	8,575
将来ビジョン					
令和新時代創生戦略					
政策項目					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
<p>中京圏の拠点として名古屋代表部を運営するほか、鳥取県とゆかりの深い方々（経済人、県人会等）との連携を強化するとともに県産品の販路開拓を図るため各種物産展等に参加する。</p>					
(イ) 事業の実施状況					
①【新規】大学生との意見交換会の開催					
<p>学生の皆さんが故郷を再認識し、Uターン就職を視野に入れていただくため、地方での就職、地方の魅力をテーマとした意見交換を実施した。</p> <p>〔日 時〕令和2年11月19日(木) 午後2時から</p> <p>〔場 所〕久屋中日ビル</p> <p>〔参加者〕日本福祉大学学生3名（鳥取市、米子市及び安来市出身）、大学職員2名、(公財)ふるさと鳥取県定住機構 就職コーディネーター、名古屋代表部職員</p>					
②全国センター合同物産観光展「ふるさとフェア」への参加					
<p>県物産協会の協力を得て、金山総合駅で開催された物産展ふるさとフェア（全国物産観光センター連絡協議会（鳥取県を含む18県1市で構成。）主催）に参加し、県産品の販売を実施した。</p> <p>〔期間〕令和2年12月1日(火)～4日(金)</p> <p>〔場所〕金山総合駅コンコース</p> <p>〔内容〕13道県が出展し、各地の名産品等を販売。</p>					
③【新規】3県合同販売会の開催					
<p>久屋中日ビルに事務所を設置している山形県及び石川県と共同で開催した。</p> <p>〔期間〕令和2年8月21日(金)、9月18日(金)、10月27日(火)、11月17日(火)、令和3年3月9日(火) 全5回開催</p> <p>〔場所〕久屋中日ビル</p> <p>〔内容〕砂丘らっきょう、板わかめ、生干しほたるいかの販売等</p>					
④鳥取砂丘らっきょうのPR					
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した「らっきょうの漬け方講習会（毎年度開催）」に代えて、中日新聞による情報発信を実施した。</p> <p>〔掲載紙〕中日新聞（夕刊・東海版）35.8万部発行</p> <p>〔掲載日〕令和2年5月30日(土)</p> <p>〔内 容〕鳥取砂丘らっきょうの説明・商品紹介（JA鳥取いなばと連携）</p>					

⑤百貨店、スーパー等での県産品試食販売

東海地方における県産品の消費拡大のため、市場開拓局、関西本部等の協力を得て、集客の多い百貨店、スーパー等で旬の県産品の試食販売を実施した。なお、町の駅「味の蔵武豊」での販売会を初めて開催した。

〔期間〕 令和2年6月21日(日)
〔場所〕 ジェイアール名古屋タカシマヤ
〔内容〕 クロマグロの特別販売
〔期間〕 令和2年8月29日(土)～30日(日)
〔場所〕 ジェイアール名古屋タカシマヤ
〔内容〕 鳥取県産二十世紀梨、新甘泉、なつひめの販売等
〔備考〕 中日新聞(朝刊・市民版)で告知広告掲載(8/29)
〔期間〕 令和2年10月23日(金)～24日(土)
〔場所〕 テラッセ納屋橋(愛知県名古屋市中区)
〔内容〕 砂丘らっきょう、板わかめ、生干しホタルイカの販売等
〔備考〕 他5県とあわせて出展
〔期間〕 令和2年9月1日(火)～10月31日(土)
〔場所〕 まちの駅「味の蔵たけとよ」(愛知県知多郡武豊町)
〔内容〕 レトルトカレー、どらやき、すなば珈琲等の販売等
〔期間〕 令和2年11月14日(土)～15日(日)
〔場所〕 ジェイアール名古屋タカシマヤ
〔内容〕 鳥取県産松葉がにの特別販売

⑥【新規】MARRIOTT BAR「鳥取バル」の開催【メイドイン鳥取県・関西・中京圏販路開拓事業】

名古屋マリオットアソシアホテルで、鳥取の食材を用いたイベントを開催した。併せてとっとり観光親善大使による観光PRも実施した。

〔日時〕 令和2年11月13日(金)～14日(土)

〔場所〕 大宴会場タワーズボールルーム

〔内容〕 鳥取和牛や松葉がになど、県産食材を使用した料理を提供
とっとり観光親善大使による観光PR

⑦【新規】鳥取県食材を使用したパスタランチ・ディナーコースの提供

名古屋マリオットアソシアホテルで、鳥取の食材を使用したパスタランチ、ディナーコースを提供した。

〔日時〕 令和2年11月2日(月)～26日(木)

〔場所〕 スカイラウンジ ジーニス

〔内容〕 県産材を使用したパスタランチ、ディナーコースを提供

⑧JR名古屋駅レストランでの鳥取県フェア開催

ジェイアール東海フードサービスの協力により、JR名古屋駅のレストラン2店舗で2週間にわたり鳥取県食材を使用したフェアを開催した。

〔期間〕 令和2年11月9日(月)～23日(月)

〔場所〕 みやび(そば、日本酒)、銀座イタリー亭(イタリアン)

〔内容〕 県産材を使用した特別メニューを提供

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・名古屋マリオットアソシアホテルで、鳥取の食材を用いたイベント(鳥取バル、パスタ、ディナーコースの提供)を実施し、さらに、JR名古屋駅での情報発信と連動させ、相乗効果を図った。
- ・久屋中日ビル内に事務所のある3県(石川県、山形県、鳥取県)による合同物産展を開催した。

ウ 成果及び効果

- ・ 旬の特産品を消費者に直接お届けすることで、県産品の知名度向上、品質の評価につながった。
- ・ 「観光」と「食」を一体的に PR することで、鳥取県の認知度向上につながった。

エ 課題

- ・ 今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大によって、県人会、同窓会の総会等及び例年開催していた鳥取ゆかりの経済人との交流が中止となるなど、人脈の維持発展を図ることができなかったが、これまで築き上げたネットワークは貴重な財産として、将来に引き継いでいく必要がある。
- ・ 大学生へのアプローチができていないため、Uターン就職に結びつくような情報提供など、より一層の取組が必要である。
- ・ 中京圏における県産品のより一層の知名度向上、販路拡大のため、今後も旬の特産品をアピールする取組を継続する必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
産業成長応援活動費	18,920				18,920
将来ビジョン					
令和新時代創生戦略					
政策項目					
<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 中京圏からの企業誘致及び企業間取引を促進する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>① 企業誘致活動の実施 進出の可能性がある企業を抽出して訪問し、県の立地環境のプレゼンテーションを実施した。(「20企業誘致の状況」に記載)</p> <p>② とっとりビジネスフォーラム in 名古屋 令和3年2月18日(木)にトヨタ産業技術記念館で開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止とした。</p> <p>イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・新型コロナウイルスの影響により、企業訪問による誘致活動が制限されたため、電話・メール等での活動を行った。</p> <p>ウ 成果及び効果 ・本年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、昨年度に比べ企業訪問による誘致活動が制限され、また、例年開催しているビジネスフォーラムを中止したが、新規およびこれまで関係を築いてきた企業と継続的にコンタクトを取るなど、つながりの維持発展に努めた。</p> <p>エ 課題 ・企業の経営戦略や業界動向をいち早く切れ目なく情報収集し、企業側のニーズを踏まえた企業訪問等のアプローチを行う必要がある。 ・企業の進出に当たっては、多様な進出形態に幅広く対応できるように関係課等と連携の上、万全の準備体制を持つ必要がある。 ・鳥取県の魅力をアピールするため、産業・文化・歴史・土地柄等の情報収集も必要である。 ・経済団体等とのつながりを維持発展させ、より一層の人脈形成を図っていくことが必要である。</p>					

6 決算資料

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予算現額			調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越財源充当額					
歳入	雑入	263,000			403,649	403,649	0	0	
	合計	263,000			403,649	403,649	0	0	

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予算現額			決算額	決算額の内訳		翌年度繰越額	差引増減額	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費等		予備費支出及び流用増減	本庁			
歳出	県外事務所費	32,930,000	△1,203,000		24,066,150	24,066,150		0	A-B-C	
	一般管理費				149,820	149,820		0		
	合計	32,930,000	△1,203,000		24,215,970	24,215,970		0	7,660,850	

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	当初予算額	補正 予算 額	支出済額	翌 年 度 繰 越 額	差引 残額	執 行 率	事業の計画と実 績・成果・不用 額・執行率
(県外事務所費)							
(主) 中京圏との連 携推進事業	17,607,000	△408,000	15,088,900		2,110,100	85%	主な事業に関する調べのとおり
(主) ふるさと鳥取 県産業・観光 センター設置 運営費	15,323,000	△795,000	8,977,250		5,550,750	58%	主な事業に関する調べのとおり 【不用額発生 の理由】 ・とっとりビジネス フォーラムの開催、(一社)愛知 県旅行業協会に係る現地研修の実 施、旅まつり名古屋への出展、刈谷 ハイウェイオアシスの出展中止等に 伴うもの。
配当替分							
(観光費) (主) 観光情報提供 事業	(1,805,000)		(1,805,000)		(0)	100%	主な事業に関する調べ(中京圏と の連携推進事業) のとおり
(県外事務所費) (主) メイドイン鳥 取県・関西・ 中京圏販路開 拓事業	(1,000,000)		(1,000,000)		(0)	100%	主な事業に関する調べ(ふるさと 鳥取県産業・観光セ ンター設置運営費) のとおり
(工鉱業総務費) (主) 産業成長応援 活動費	(18,920)		(18,920)		(0)	100%	主な事業に関する調べ(産業成長 応援活動費)のと おり
目計	32,930,000	△1,203,000	24,066,150		7,660,850	73%	
合計	32,930,000	△1,203,000	24,066,150		7,660,850	73%	

8 予備費の充用調べ 該当なし

9 繰越関係調べ 該当なし

10 収入証紙取扱調べ 有・無

11 現金の取扱状況 該当なし

12 財産に関する調べ

(1) 公有財産 該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況 有・無

イ タクシーチケットの受払状況

(令和3年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		差引未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
100枚	100枚	57枚 90,540円	143枚

(3) 基金 該当なし

(4) 債権

(令和3年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				差引		備考
	金額	件数	増		減		金額	件数	
			金額	件数	金額	件数			
名古屋代表部事務所 借上げに係る敷金	1,502,820円	1	円		円		1,502,820円	1	
名古屋代表部倉庫借 上げに係る敷金	78,024円	1					78,024円	1	
合計	1,580,844円	2					1,580,844円	2	

1 3 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用料)円		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付使用料	住所氏名	住所氏名	
貸付不動産	事務所	名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル	3.3㎡	R2.4.1	R2.4.1	R2.4.1 ~R3.3.31	年額	131,769	鳥取県鳥取市若菜台南7-5-1 (公財)鳥取県産業振興機構		
	事務所	名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル	3.3㎡	R2.4.1	R2.4.1	R2.4.1 ~R3.3.31	年額	131,769	鳥取県鳥取市相生町4-411 (公社)鳥取県観光連盟		
計								263,538			
合計								263,538			

(2) 物品 (1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの) 該当なし

1 4 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約書の有無	契約の状況		借受先		備考
						借受期間	借価	借所氏名	借所氏名	
建物	鉄筋11階建 地上5階	名古屋代表部 事務室	名古屋市中区栄 4-16-36 久屋中日ビル	82.800㎡	有	R2.4.1 ~ R3.3.31	月額 275,517 3,306,204	名古屋市中区栄4-1-1 中日本ビルディング株式会社 代表取締役社長 金森昭夫		
建物	鉄筋11階建 地下2階	名古屋代表部 倉庫	名古屋市中区栄 4-16-36 久屋中日ビル	9.706㎡	有	R2.4.1 ~ R3.3.31	月額 25,837 310,044	名古屋市中区栄4-1-1 中日本ビルディング株式会社 代表取締役社長 金森昭夫		
合計				92.506㎡				3,616,248		

- 1 5 職員駐車場の管理状況調べ 該当なし
- 1 6 寄附物件の受納状況調べ 該当なし
- 1 7 備品の処分状況調べ 該当なし
- 1 8 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
- (1) 亡失、損傷の報告状況 有 ・ 無
- (2) 物品確認の実施状況 有 ・ 無
- 1 9 貸付金等状況調べ 該当なし

20 企業誘致の状況

(1) 企業誘致の条件、目標等

- ① 目標
- ・企業誘致（見込を含む。） 1社以上
 - ・経営戦略として進出計画を持つ企業の発掘 3社以上
- ② 目標達成に向けた方策
- ・次世代を見据えた大胆な誘致活動の実施
 - ・企業情報の分析をベースにした計画的な誘致活動の実施
 - ・多様な進出形態に対応するための万全の準備
 - ・誘致活動の確実なレビューと継続的なアプローチ

(2) 企業訪問

- ① 訪問企業数 103社

② 内 訳

区 分	既誘致企業 (0社)	令和2年度新規開拓企業 (7社)	そ の 他 (96社)
業 種 (主なもの)		<ul style="list-style-type: none"> ・工作機械製造 ・メカ部品製造（自動車、航空機等） ・電気機器製造 	<ul style="list-style-type: none"> ・機械製造 ・医薬品製造 ・食品加工

(3) 企業の要望、課題等

- ・企業の経営戦略や業界動向をいち早く切れ目なく情報収集し、企業側のニーズを踏まえた企業訪問等のアプローチを行う必要がある。
- ・企業の進出に当たっては、多様な進出形態に幅広く対応できるように関係課等と連携の上、万全の準備体制を持つ必要である。
- ・鳥取県の魅力をアピールするため、産業・文化・歴史・土地柄等の情報収集も必要である。
- ・経済団体等とのつながりを維持発展させ、より一層の人脈形成を図っていくことが必要である。

(4) その他

- ・本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の中での誘致活動となったため、思うような誘致活動ができず、昨年度に比べ企業訪問による誘致活動が減少した。

21 県内物産の展示、宣伝、紹介の状況

「6 主な事業に関する調べ」に記載

22 観光宣伝の状況

「6 主な事業に関する調べ」に記載

23 県外本部・代表部庁舎に入居している団体等の調べ

(令和3年3月31日現在)

団 体 名	職員数 人	当初入居 の年月日	面 積 ㎡	職員1人 当たりの 面積 ㎡	使用料 貸付料 (月又は年額) 円	減免率 %	共益費等の 負担方法	備 考
公益社団法人鳥取県 観光連盟	1	H19.4.1	3.3	3.3	年額 131,769	—	面積割	
公益社団法人鳥取県 産業振興機構	1	H18.4.1	3.3	3.3	年額 131,769	—	面積割	

○ 意見、要望等

- | | |
|--------------------|------|
| (1) 業務に関する意見・要望等 | 特になし |
| (2) 監査委員事務局に対する要望等 | 特になし |